

第108号
2012年5月1日発行

愛道

あいどう



テーマ「**試み**」

社会福祉法人 **足羽福祉会**

<http://www.asuwafukushikai.jp/>

足羽更生園



ユアーズホテル主催の「がんばろう日本」の作品展にちぎり絵の作品「赤富士」が「優秀チーム賞」に入賞しました。

アート!

足羽利生苑



デイサービスきらく楽にて、卵としじみの殻を使い製作しました。来年は巳(へび)に挑戦する予定です。

目次 もくじ

- 2 みんなのチャレンジアート!
- 4 子どもの育ちと環境
足羽東保育園
- 6 指さしからほうきまで
～片付けまでの流れが余暇～
足羽学園
- 8 愛情をこめて
足羽更生園
- 10 今までの自分、これからの自分
～新事業所「足羽ワークセンター第3事業所 パステル」開所～
足羽ワークセンター
- 12 その方のために私たちができること
愛全園
- 14 たくさんの笑顔
足羽利生苑
- 16 平成24年度 足羽福祉会 新任職員紹介
- 18 愛のささえ



「表紙について」

5月の晴れた一日。“つつじまつり”に出かけられた仲良しの利用者の方の2ショットです。新緑にまけないくらいの若々しい笑顔は、若かりし頃にタイムスリップしたようで、とっても素敵です。

愛全園 籾川

足羽学園



さて、これは何でしょう？
ゴミが散らばっているだけ??
いえいえ、その答えは、足羽学園のページに…!

足羽更生園



ユアーズホテル主催の「がんばろう日本」の作品展にちぎり絵の作品「赤富士」が「優秀チーム賞」に入賞しました。

チャレンジアート!

ろんな「試み」を行っています。

愛全園



習字クラブに参加されている方の作品。大きな文字・ひかえめな文字、どの作品からも、お一人おひとりの人柄が感じとられます。

足羽利生苑



デイサービスきらく楽にて、卵としじみの殻を使い製作しました。来年は巳(へび)に挑戦する予定です。

子どもの育ちと環境

子どもは環境の中で育ちます。年齢に応じた環境構成になっているか。自発的に遊びが展開できる環境が常に整えられているか。一人ひとりの発達を促す環境は大きな課題です。今回は、遊びの環境を変化させたことで、夢中になって遊ぶ子どもたちの姿と育ちについてご紹介します。



4歳児クラスでみつけた夢中な姿 発達にあつた 保育環境

年齢に応じた玩具がマンネリ化し、課題となっていた4歳児クラス。今の子どもたちの発達や遊びの様子を基に、玩具を見直し、入れ替えを行いました。

〈同じ形で大小異なる積木〉
想像力や考える力を高め、仲間遊びを楽しむために。

〈廃品や文具〉
いろんな素材の性質を知り、廃材をいろいろ工夫する楽しさを味わうために。

〈手作りカルタ〉
文字に親しみながら、皆でルールを作って、遊びを楽しむために。

新しい玩具の環境に気づき「新しいおもちゃ、入ってるよ」「これしたい！」と子どもたちの目は輝いていました。

積木で遊び始めたAちゃん。一人で黙々と積木を高く積み上げていました。それに興味を示し、じつと見ていたBちゃん。

Bちゃん「いれて」

Aちゃん「いいよ。今東京の町でエレベーターがあるところ、作ってるんや」

しばらく一緒に作る二人。

Aちゃん「ここは、穴あけとこ」

Bちゃん「電気はどこつける？」

二人で建物の中を覗き込む。

Aちゃん「電気はここ。人はどこに入れる？」

Bちゃん「ここにしておいて、隠られるようにしよう」

夢が膨らみ、会話が弾む二人。夢中で遊んでいます。

Aちゃん「先生、見て！すごいやろ！ここ穴あけたんだよ」

保育士「なんで、このような形にしたの？」

Aちゃん「エレベーターが通れるようにしたんや」

保育士「なるほど。よく考えたね。おもしろい！」

認めてもらえたことで、とても満足そう。この後、また二人で遊びの世界に入り、会話を膨らませていました。



積木遊び一つから想像を膨らませ、自分の体験や理想を形にしたり、友だちとストーリーを組み立てたりなど、子どもの表現力や発想は自由で豊かです。

また、友だちと協力し、一緒に楽しさを味わうなど、子どもたちは遊びを通して、相手を認め、仲間との関係を育み、その中で個々の成長も促がされています。

0歳児クラスでみつけた夢中な姿
安心して遊べる
保育環境



月齢や発達での個人差があり、歩く子や走り回る子がいるなど、動きがさまざまな0歳児クラス。発達するにつれ、探索活動が盛んになり、行動範囲が広がったことから、危険な面が増えてきました。

0歳児の部屋にある、家の形になっていてついでに立。体を自由に動かせるようになったことから、自分でよじ登り、立ち上がるよう

になりました。怪我につながることも予測され、私たちは「危ないから降りようね」と声かけしていましたが、まだ小さい子どもたちには『なぜいけないのか、登るところではない』という理解ができず、お構いなしに登っていました。

何かいい方法がないかと試行錯誤し、思いついたのが、窓にカーテンをつけ、カウンターにはチャックを取り付けることでした。

その次の日からは、登ることは少なくなり、指先を使ってチャックの開け閉めを楽しんだり、カーテンをめくって、友だちや保育士としゃべりたいなあを楽しくむようになりました。また、よじ登りをしたいという気持ちも尊重し、階段の昇り降りや、よじ登りできる丸太登り、三角マットなどの運動遊びも充実させました。

0歳児の子ども一人ひとりの発達に合わせて環境を整えていくことで、好奇心は強いものになり、探索活動も広がってきました。また、危険な環境も工夫ひとつで安全で楽しい環境となり、より楽しい遊び場となりました。

子どもにふさわしい環境を整えたことで、子ども自らが積極的に環境に働きかけ「自ら考え表現する力」や「人とかわる力」が育ってきました。これこそが、幼児期の子どもに必要な力だと思えます。今後、子どもは環境との相互作用を通して成長・発達していくことを念頭におき、さまざまな経験を積んでいけるよう、保育を行いました。



水道横にある「もったいないばあさん」。水をだしっぱなしにしているか、いつも見ています。



「そろえて脱がないと」と子ども同士で声かけ合っています。



トイレの後のシャツ入れ。実際の写真で表示。

みんなの広場

目で見て楽しく学ぶ保育環境
遊びの環境だけでなく、トイレの環境にもひと工夫！



流し忘れが、少なくなりました。



ペーパー1回での使用は約30cm。



四角くたためば、きれいに拭きとれるよ。



トイレの順番を守りましょう。

指さしからほづきまで 片付けまでの流れが余暇

自由に過ごせる時間……。皆さんなら、どんなことをして過ごしますか？特に何もしないという方もいらっしゃるかもしれませんが、自閉症の方は「何もしないで過ごす」ことが苦手な方もいらっしゃいます。

今回は自閉症の大輝さんの余暇支援の取り組み、大輝さんの変化についてご紹介します。

破ることでも…

足羽学園に入所されている利用者の方の中には、自閉症の方が多くいらっしゃいます。

自閉症の方は、自由に過ごすことを苦手とされる方が多いのです。何をしようのかわからず、パニックになる方もいらっしゃいます。今回ご紹介する大輝さんもその1人です。大輝さんは、手持ちぶさたになると、自分の着ている衣類を破ると

いう行動をされていました。

また、以前より紙ちぎりをするのが好きだったので、紙ちぎりをするために、広告を渡しても、物足りないのか、居室の壁紙を破ってしまうこともありました。

何が好き？

では、衣類を破らないでいただくためにはどのような支援をするとういのかを考えたところ、余暇の充実を図る必要があるのではな

それまでの大輝さんの行動や家庭、学校での様子から、大輝さんの好むことを探しました。

・おえかき

・積み木

紙ちぎり以外にこれらのことを好むことがわかり、余暇として提供することになりました。

大輝さん自身がしたい余暇を選び、自ら要求して来られるように、視覚情報とPECS(※)を併用した支援を始めました。

(※)PECS：絵カード交換式コミュニケーションシステム。自閉症やその他のコミュニケーション障がいを持つ方が、自動的にコミュニケーションできるようにするために作られたトレーニングプログラム。

視覚情報とPECS

視覚情報は、大輝さんが要求しやすいように見えやすいところに提示し、大輝さんにそれを見ていただき、これからは、したいことがあったら、この視覚情報を指さして「○○ください」と職員に伝えるよう声をかけをしまし

た。大輝さんは視覚情報の写真を見て「○○ください」と職員の真似をすることができました。大輝さんの中で視覚情報が定着するまで、何度かPECSの使用もしましたが、視覚情報の方が大輝さんには適していたようで、PECSを使用することはなくなっていました。



「紙ください」指さしをして思いを伝えます

次のステップへ

視覚情報を用いて要求をして来られるようになってからの、今度は片付けをせずに遊ぶことが多くなりました。

そこで、視覚情報に新たに【片付け】の写真を取り

入れ、遊びと片付けをセットとして支援することになりました。

始めたころは、一緒に片

付けを行う職員を横目に、テレビを観ていました。しかし、何度も繰り返し行つていくうちに徐々に、集まったゴミを拾ってゴミ箱に捨てるようになりました。そ

してさらに繰り返し行うことで、ほうきとちりとりを渡すと、自ら片付けをするようになりました。

今では自ら職員の肩を叩いたり、視覚情報を指さしたりして「○○ください」と要求されるようになってきました。1枚では足りないときは、再度要求しに來られ



ほうきとちりとりを上手に使います

自ら意思表示をされたときに「伝えてくれてありがとう」と思いきり褒め、心からの気持ちを伝えていたところ、どんどん要求が増えていき、それに比例するように衣類破りも減っていきました。また、大輝さんも満面の笑みを見せてくださいました。

まだまだどのような支援がいいのだろうかと悩むことも多々ありますが、上司や先輩にアドバイスをいただきながら、積極的に支援に取り組んでいこうと思います。

平成23年度 大輝さん担当

野坂 郁江

るよう、また、片付けも定着するよう、支援を続けています。



目次ページの答えは、大輝さんのアートでした♪

その利用者の方はどのようなことが好きなのか、どのような要求の方法が適しているのか。それらを探り、提供し、定着へとつなげることが課題となっています。

今後、各担当職員が中心となって、足羽学園全体で余暇の提供を進めていきたいと考えています。

みんなの広場

足羽学園の園内の壁には、利用者の方と職員で作った、季節に合った装飾を掲示しています。



これらの装飾のおかげで、足羽学園の園内の雰囲気はグッと温かみが出ます。

愛情をこめて

温かいものを温かいうちに提供し、家庭的な味でお腹も心も満たしてほしい。そんな思いを込めて厨房では今日も料理を作っています。今回は、ひと手間を惜しまず、料理の幅を広げる厨房の様子を紹介します。



お弁当を広げて、外で花見♪



題字：習字クラブ
尾野 克典 様

足羽更生園は足羽学園と併設されており、足羽更生園、足羽学園の利用者の方98人の食事を栄養士2名、調理師7名の計9名の職員が交代で作っています。

また、平成21年6月からは、新しい取り組みとして園外事業所「羽生の郷」の昼食をお弁当で提供するようになりました。以前は業者のお弁当を頼んでいましたが、慣れ親しんだ味を提供したいという思いから足羽更生園の食事を配達するようになりました。

献立内容も、栄養士オリジナルメニューや調理員が提案したメニューなど、利用者の方が美味しく、安心して召し上がっていただける献立になっています。

試行錯誤の末に…



節分に豆を混ぜた鬼っこご飯♪
栄養士オリジナルメニュー

現在の羽生の郷のお弁当は彩りがよく、目で見ても楽しめるお弁当になっています。しかし、そこに行きつくまでは平坦な道のりではありませんでした。

お弁当を始めた当初は、パックに入る分量がわからず、材料が多かったり、少なかったり、似たような色合わせになるなど試行錯誤の連続でした。また、配達時間までに作れるように、お互いが声をかけ合って協力しての調理でした。

どうすれば美味しく見えて、食べる意欲につながるか、ときには他施設のお弁当づくりを見学に行くこともありました。人参り付けの位置や向きを変えるなど、皆で意見を積極的に出し合いました。

あるとき、業者のお弁当では残っていた利用者の方が足羽更生園のお弁当では「全部食べました」と満面の笑みで教えて下さるなど、うれしい出来事がありました。

これからも、工夫とアイデアを活かし、ひと手間を惜しまず、利用者の方からご迷惑をおかけしないよう、お弁当を提供していきたいです。

〈厨房職員からの声〉
・食べ残しが少ないと「よしっ」とうれしくなります。

(安野調理員)
・どうしても、美味しいと喜んでもらえるかを考えるのが楽しみです。

(佐倉調理員)

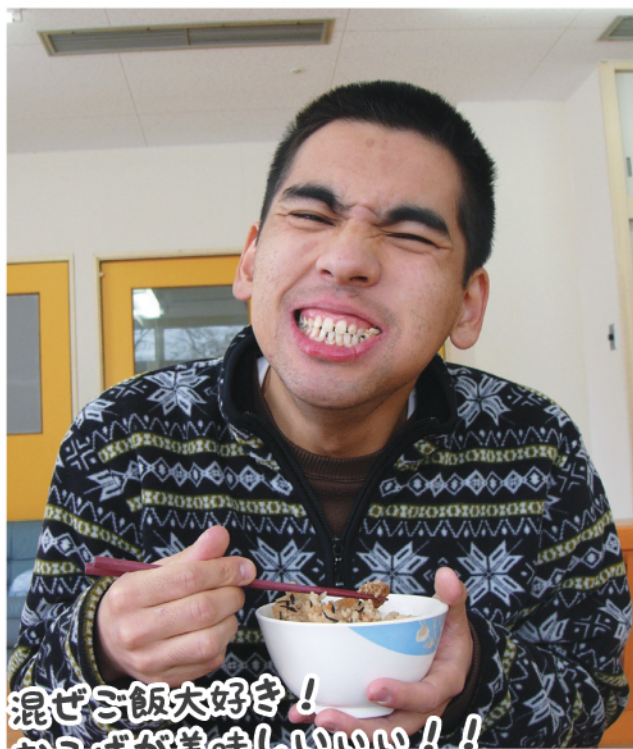
「ゴーヤとれたよ」

足羽更生園では利用者の方と一緒に野菜を育てています。白菜、トマト、じゃがいも…季節の野菜が採れると新鮮なうちに調理して、その日の一品に追加されます。

厨房では美味しく召しあがっていただくために、どのように調理するとよいか話し合います。中でもゴーヤの佃煮はおかわりが出るほどの大人気でした。献立

に加えての一品は大変ですが、利用者の方が愛情をこめて育てた野菜を食べたときの表情はともうれしうで、その気持ちに応えたいという思いです。

また、足羽更生園では月に2回、自治会を行っています。自治会とは利用者の方が生活の中で困ったことや、直してほしいことなど意見を自由に出し合う場です。出た意見は協議し、決まったことを利用者の方にお伝えしています。



混ぜご飯大好き！おこげが美味しい！！

食事面でも

- ・どんぶりを増やしてほしい
- ・ラーメンをもつと食べたい
- ・おやつは饅頭が良い
- ・いろいろな意見が出ます。

栄養士はその意見を参考に栄養面を考えつつ献立を立てます。

利用者の方からのリクエストメニューを聞くと、とてもうれしくなり、喜ばれるものをもつと提供したいという思いにつながっています。

利用者の方の声

・写真付きの献立を見るとワクワクする。食事時間までが楽しみ♪
(40代男性)

・お弁当を開けるのが楽しい。時々外でお弁当食べるよ。
(40代女性)

・味噌汁が美味しいです。おかわりは最後を狙っています。
(20代男性)

※ダシは本がとおと昆布、煮干しからとっており、最後は煮干しの粉が鍋の底に溜まっています。



利用者の方と田端栄養士

栄養士 田端 路代

調理場がピリピリしていても美味しい料理は作れませんので調理場は常に和やかな雰囲気大切にしています。

利用者の方が夏バテや体調を崩し食が細くなったときは、担当職員と相談しながら厨房皆で意見を出し合い、その方に合った個別の食事を考えています。

大量に食事を作ることは大変ですが、ひと手間を大事にして料理の幅を広げて、家庭的な食事をこれからも提供していきます。

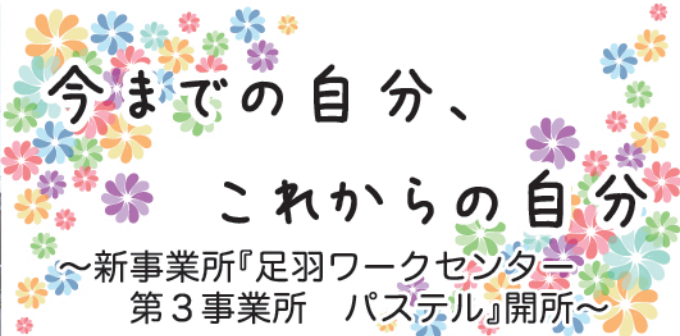
みんなの広場



昔の写真を見ると気持ちが温かくなりますね♪フロアには昔の写真を展示しています。

写真の中には20年以上前の白黒写真も多く、当時を知っている職員が新人職員に思い出話をする場面も見られます。写真を通してのコミュニケーションの場ができています☆





平成24年4月1日、足羽ワークセンターの第3事業所として、新しい事業所がオープンしました。「一人ひとりの個性が、それぞれの色で輝いて欲しい」という思いから『パステル』と名付けられ、現在数名の発達障がいをもった方を対象に支援をしています。作業支援だけではなく、人とのかわり方や日常生活に必要な活動などを通して、その人らしく生活ができるように共に取り組んでいます。

**皆さん
ご存じですか？**

一般的に発達障がい幅広く認知されるようになったのは、平成16年の『発達障害者支援法』制定以降であり、それまでは知らない方も多くいました。この障がいをもつ方の特性上、なかなか周囲と馴染めず、利用

者のAさんは「最初、コンビニエンスストアでアルバイトをしてみたけれども、人間関係がうまくいかず、職場の雰囲気慣れることができなくて、すぐに辞めてしまった。そのあとの仕事も長続きしなかった」と相談がありました。

また、別の利用者者のBさんは「仕事を依頼されても、内容が理解できない。そのまま自分で勝手に進めたら、注意をうけた」と話して下さいました。このように、対外的なコミュニケーションが不得意である、また人との接し方がわからず不安になったりパニックになったりしてしまうことも、発達障がいをもっている方の悩みのひとつとして挙げられます。

それぞれの障害特性

- 知的な遅れを伴うこともあります
- 言葉の発達の遅れ
 - コミュニケーションの障害
 - 対人関係・社会性の障害
 - パターン化した行動・こだわり

【自閉症】
例：急な予定変更や初めての場所が不安。不安なときに周囲の促しがあると突発的に大声を出すこともある。

- 広汎性発達障害**
- 【アスペルガー症候群】**
例：他の人が話しているのに自分のことばかり話してしまう。自分の得意分野に関しては豊富な知識を有する。
- 基本的に言葉の発達の遅れはない
 - コミュニケーションの障害
 - 対人関係・社会性の障害
 - パターン化した行動・興味・関心のかたより
 - 不器用(言語発達に比べて)

注意欠陥多動性障害(AD/HD)

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁(じっとしてられない)
- 衝動的に行動する(考えるよりも先に動く)

例：大切な仕事の予定を忘れて、大切な書類を置き忘れてしまう。何回言われても忘れてしまう。

学習障害(LD)

- 「読む」「書く」「計算する」などの能力が全体的な知的発達に比べて極端に苦手

例：メモを取ろうとしても、本当は書くことが苦手なのに、集中しようと気を取られてしまい、逆に内容が分からなくなる。

現在、福井県内に発達障がいの方が相談できる場所は数少なく、地域によっては皆無のところもあります。相談をしても、利用者の方の受け皿がないのは深刻な状況でした。そんな中『パステル』が県内最初の支援事業所として開所という記事

が地元紙の紙面トップに取り上げられました。私たちがスタッフもまだまだ手探り状況の中ではありますが、一人ひとりの個性や特性にあった支援をするように活動を始めました。

※実際には障害の種類を明確に分けて診断することは難しく、症状や診断時期により診断名が異なる場合もあります。

上記の図は厚生労働省の政策レポート(発達障害の理解のために)を引用し例を挙げて掲載しています

一人ひとりに合った方法で支援を

当事業所に通う方は、月々金曜日（土曜の活動日もあり）の9時から16時までの通所時間の中で、午前中は作業を中心に、午後からは社会的なスキルアップのための個別支援プログラムを中心に活動しています。発達障がいの特徴を知らない方から見ると、あいさつの仕方や人との話し方、仕事の進め方などは『知っている当たり前』なことかもしれないかもしれません。しかし、適切なサポートがないと、社会の中で自分を上手に表現できないことも多々あります。

苦手な分野を克服しようとする利用者の皆さんと共に過ごす私たちにできること、それは…

① 苦手なことをスタッフの支援で補い、できた部分を褒めること

② 安心して取り組める環境を作ること

③ その人の人間性を尊重して、優しく見守り続けること

だと考えています。

まだまだ開所間もない事業所で、利用者の方一人ひとりにあった支援は手探り状態ですが、障がいをその人の個性として捉え『パステル』という名前にふさわしい事業所でありたいと考えています。

パステル利用者の方ある日の1日

事業所での作業の様子や、スキルアップのための活動の様子を紹介します。



出勤したら、タイムカードを押して、鏡で身だしなみをチェックします。



午前中は、作業を中心にすすめています。



相談は随時、個別に時間を取りながら、ていねいに聴き取ります。



1日を通して作業をするとどうしても疲れてしまいます。午後はスキルアップのための支援を中心に活動します。
(左: あいさつの練習、中央: 調理訓練を通してコミュニケーション能力のアップ: 右: 文房具の使い方の練習)



みんなの広場

3月の終わりに「ケアホームさつき」で生活している14名の方が夕食外出に出かけました。向かった先は食べ放題！…若干年齢層が高めだったせいか、最初に食べ過ぎてしまい、早くにギブアップしてしまいました。トホホ。



ちょっとお酒をたしなみながら

食べ過ぎて、お腹一杯！



その方のために 私たちができること



皆さんはショートステイという介護サービスをご存じですか？

さまざまな理由により一時的に在宅で介護できない場合に、数日間施設に宿泊し、ふだんの生活・介護を施設職員がご家族に代わり行うサービスです。

今回は、ご利用されている利用者の方の事例を交えその内容をご紹介します。



ケアマネージャーと職員が訪問しお話を伺います

家にいたい

小嶋ヒナヲ様（95歳）は平成22年12月ご自宅で転倒し骨折されました。

歩くことができなくなり、移動には車椅子を使用しなければならなくなりました。入院中小嶋さんは「もう、家には帰られんやろう？」と悲しまれたそうです。ちょうど同じころ、主に介護をされているお嫁さんも体調をくずされ「お母さんが家に戻ってきても介護する自信がない」と思われたそうです。しかし、小嶋さんの「家で暮らしたい」という想いをくみ取り、ショートステイを利用する運びとなりました。

帰る！

小嶋さんは気難しいところがあり、ショートステイのご利用当初はトイレでの介助、お風呂へのお誘いも断られることが多くありました。

また「帰る！」と大きな声で出口を探され、職員が話をしても「私のことなんてにんならんやろ！（関係ないやろ・構わないで）」といつも怒り口調で話をされていきました。笑顔や言葉数も少なく、他の利用者の方にも声をかけて帰ろうとされることもありました。

ここは私の部屋や

小嶋さんの不安を取り除くため、毎回同じ部屋で過ごしていただくことで「ここが私の部屋」という安心感を持ち、ショートステイに慣れていただけよう工夫しました。

何回かご利用されるうちに、その部屋を指差して「ここは私の部屋や」と認識されるようになり、ご自宅に帰られる日にはご自分の使われた布団を綺麗にたたんで帰られるようになりました。その他にも、



帰る前に、使った布団を整える小嶋さん

焦らずにご本人のペースを大切にし、小嶋さんの想いや、昔の話などをよく聴くようにしました。このような工夫をすることで、ショートステイも小嶋さんの居場所だといただくことができました。



職員との関係も良好

今日も泊まる ☺

現在は、トイレで「手伝いますか？」と声をかけると「お願い」と素直にに応じてくださり、入浴も快くされるようになり、「いいお湯やった」と満足そうに言われています。

また、他の利用者の方と楽しそうに会話をされ、帰られる日でも「今日も泊まる」と言われることもあり、いつでも会話の中心となり、周りを明るくしてくださっています。

お嫁さんに、ショートステイをご利用されるようになってからのお話を伺いました。

- Q ショートステイを利用することに不安はありませんでしたか？
- A 愛全園のデイサービスを利用して、コミュニケーションもとれていたため、特に不安はありませんでした。
- Q 利用してご本人、ご家族が変わったことは？
- A 本人は時折大きな声を出す事がありますが、精神的に落ち着いていると思います。私たちは身体的にも楽ですし、用事もできるので助かっています。

思い出のアルバム



年忘れ会で、スーパーボールをつり上げようとして一生懸命でした。



運動会しくの魚つりゲームで5位になりました。



クリスマス会でうさぎの耳をつけてニッコリ。

私たち職員は、ふだんから利用者の方お一人おひとりに目を向け、耳を傾けています。また、日々変化する心と体の状態に早めに気づき、どのようにさせていいただくと良いのか、日々模索しています。

また、ご家族に対しては、悩みを伺い一緒に考えながら、心の支えになりたいと思っています。

小嶋さんも、車いすでの散歩から戻られると、今では「帰りました」と笑顔で言われるようになりました。

これからも、利用者の方の笑顔をひとつでも増やせるよう、職員一同お手伝いさせていただきます。

みんなの広場

「笑顔」は元気の源

利用者の方の笑顔に元気をもらい、利用者の方の笑顔のために頑張ることが出来ます。そんな利用者の方の素敵な笑顔をご紹介します。





たくさんの笑顔

足羽利生苑では、入所されている利用者の方が気軽に買い物ができるように『ニコニコ市場』を開店しました。

一人の職員がリーダーとなり、さまざまな部署と協働しながら始まった今回の取り組み。試行錯誤しながら、たくさんのニコニコがあふれるお店ができました。

ひらめいた!!

「今日は買い物行かんのか？」

ある買い物好きの利用者の方がたずねてきました。入所されている方々の生活の一部で楽しみにされていることに、買い物外出があります。しかし、重い病気をもたれていて外出が難しい方もおられ、いつでも買い物へ出かけることは困難でした。なんとご利用者の方のニーズに応えたい…考えた結果『足羽利生苑にお店を開いて、買い物に来ていただくのはどうか』という、斬新なアイデアがひらめきました。

四苦八苦しながら

どのようにお店を開店し運営していくと良いか、職員に意見を聴きとることから始めました。初めての取り組みということもあり、不安を抱く職員も多く「お金の支払い方法は？」

のか」「病気の重い方もいるので細かいルールを決めない」と不安」という意見も少なくありませんでした。そのため検討会を開き、多くの課題点をどのように解決していくかを考えていきました。

検討会を重ねていくことで問題点を一つずつ解決していきました。例えば

- ① 支払いは現金でもつけ払いでも買い物ができる。
- ② 利用者の方の把握表を作り、職員がその方の病気や特徴を把握することで、安全に買い物ができる。
- ③ 利用者の方が覚えやすいように、開店日を第1・3週の金曜日に固定する。などです。

そして全職員にお店の名前を募集。誰もがここにこなるようにとの思いをこめて『ニコニコ市場』となり、開店準備が整いました。





苑長 手作りの看板

ニコニコ市場へ いそいそやいませ〜

訪問販売に来てくださる『八百藤』さんご協力のもと、ついに『ニコニコ市場』が開店しました。商品はお菓子を中心に、お砂糖や果物なども売っています。早速利用者の方が買い物に来られました。「いらっしやいませ〜」と店員が呼びかけると「おいしそうなものたくさん売ってるの〜」と利用者の方はニコニコ笑顔です。一番の良い点は、品揃え豊富な中から自分で選択して買える物ができるという点です。あつという間にかごの中は商品でいっぱいになっています。また、ご自分でお金を払える方には支払いもしていただき、買い物のお困りを味わっていただくことができました。

次々とやってくるお客さんにより、店内は賑やかで楽しい雰囲気になっていきました。

利用者の方のために

1からのスタートだったので不安もありましたが、利用者の方の「わ〜!!」という歓喜の声と、いきいきと買い物される姿をみて「やって良かった」と心から思いました。今後の目標は、お菓子だけでなく衣服や日用品なども販売していきたいです。またボランティアの方のサポートを借りて、訪問販売だけでなく、地域にあるいろいろなサービスを足羽利生苑に取り入れていけたらと思っています。これからも利用者の方の笑顔のために、さまざまなことに挑戦していきたいです。

足羽利生苑 職員

西田勝俊

足羽利生苑にとつての新しい取り組みが、利用者の方の自己選択や社会資源の活用につながっていきます。これからも地域に開かれた足羽利生苑をめざします。

みんなの広場

手芸が趣味で熱心に取り組まれているAさんの作品を紹介します。



お菓子入れのかごです。



わらじのポーチです。

丁寧な作りの作品からAさんの優しさが伝わってきます。次はどんな作品を作られるのでしょうか。待ち遠しいです。

愛のささえ

ご協力ありがとうございました

平成23年12月1日から平成24年3月31日までのの方々を掲載させていただきました。

【本部】

(寄付・寄贈)

タキナミ製置 本道薬品 (株)松尾工務店 (株)端野メテikal (財)福井県予防医学協会 (株)福井建材社 山元菊丸商店 (有)たこや食品 だるまや商事(株) 北陸銀行福井東支店 さわかライフ白洋舎 (株)神久商店 福井環境事業(株) (株)福銀リース 清風荘 (株)ピリケン (株)カワグチ (株)松田阿んころ 西田建設(株) 福井銀行東郷支店 北興産業(株) 江守企画(株) 仲村家具(有) (株)橋本工務店 暁産業(株) (有)発田モーターズ 栄月(株) (有)誠心堂サンクリン 横山電気(株) 福井市医師会臨床検査センター 三谷設備(株) 園田ふとん店 大和電建(株) 藤井硝子店 飛鳥建設(株) (株)ピー・アイ企画 野路電気管理事務所 (株)谷口分業堂 (株)マルゼン福井営業所 キングラン中部(株) 山耕(株) ミヤマペーカリー 福井県環境保全協業組合 (株)福井観光トラベルサービス 福井県漁業協同組合連合会 医療法人和幸会 (株)キッチンブランド

日香 毛利圭佑 橋野純子 鍛田喜与美 橋本日和 橋本聖也 岩永華穂

(研修・実習・見学)

藤尾知代

【足羽学園・足羽更生園】

(寄付・寄贈)

仁愛女子高等学校ポランティア委員会 国際ソロフチミスト福井 カナカン(株)乾親会 清水歯科医院 清水俊弘 石田建設工業(株) ミュージックバンド「天顛」 (財)熊谷福祉財団 永平寺社会福祉協議会 福井県繊維産元協同組合青年部会 吉田金属 竹村勉

(ポランティア・交流・訪問)

さわやかアンサンブル 福井地区美容師組合 住友生命 宣興社 キリスト教婦人部会 形山遼 川崎愛理 従二大樹 下野涼太 西藤有希 中谷貴文 神間一生 佐藤真美 佐本明日美 岩倉ひろみ

(研修・実習・見学)

福井県医療福祉専門学校 日本福祉大学中央福祉専門学校 仁愛大学

【足羽ワークセンター】

(寄付・寄贈)

渡辺冷凍食品(株) 内田精肉店 安田蒲鉾

(ポランティア・交流・訪問)

福井県医療福祉専門学校 大原スポーツ医療保育福祉専門学校 仁愛大学 滝口文子 野村幸男 嶺北養

護学校 福井南養護学校 福井東養護学校 福井大学付属特別支援学校 南越養護学校

(研修・実習・見学)

福井県立盲学校

【愛全園】

(ポランティア・交流・訪問)

啓蒙保健衛生推進員 啓蒙ポランティア 啓蒙民謡クラブ 福井市赤十字奉仕団 小木大正琴クラブ 斎藤さよ子 花亀会 山岡玲子 太田美代子 小木孝子 本多春子 奥村美枝子 中嶋安子 坂本幸子 滝波博純 熊谷三和子 橋静枝 鈴木陽子 福井県医療福祉専門学校

(研修・実習・見学)

福井県医療福祉専門学校

【足羽利生苑】

(寄付・寄贈)

北陸電力関連産業労働組合総連合(株)伊藤園

(ポランティア・交流・訪問)

福井市赤十字奉仕団 松宮あさ子 児玉美子 丸山グループ まーまれーど美容室 宇都宮友美 美容室 倶楽部浜田 本田幸雄 白崎弘 光 仙彩乃 屋敷千恵子 梯洋枝 宮浦幸子 オカリナーナポルテ 飛寄来の会 大久保直美 野村美弓 大正琴シンデレラ オカリナーハローニー 谷口知愛 後藤麻希 村岡剛直夫妻 順不同・敬称略



北陸電力関連産業労働組合総連合 車椅子寄贈

編集後記

- 新年度がスタート！どんな一年になるのか楽しみです！ 大島(保)
- 今年度は自分自身にとって、新たなことにトライしていく年。めげずに頑張るぞ!! 江上(学)
- 何かにチャレンジしたくなる春が大好きです☆ 宮下(更)
- 今回の出来栄も素晴らしいものになったと自画自賛しております。新年度もよろしくお願いたします☆ 惠美(ワ)
- 初めて担当しました。難しかったけど、また良い記事を書きたいと思えます。 金崎(愛)
- これからも新緑のようにさわやかで、フレッシュな「愛道」を目指します。 糺川(愛)
- 半年前にピアノを始めて、ただ今新しい曲を練習中。音楽って、本当に素晴らしいですね。 前田(利)
- 今年度の試み…マラソンにチャレンジしたいと思えます。 本田(利)
- 10キロ減量か10キロ走どちらにチャレンジしようか思案中です。 川縁(本)
- 今号のテーマ「試み」ということで、今年度は「愛道」のイメチェンを図りたい。個人的には資格取得に挑戦します。 安田(本)

発行所

社会福祉法人 足羽福祉会

足羽東保育園・足羽学園
足羽更生園・足羽ワークセンター
愛全園・足羽利生苑

〒910-2178 福井市榎野町20-7
TEL(0776)41-3108/FAX(0776)41-3199
http://www.asuwafukushikai.jp/

発行責任者 高村昌裕

※誌面の写真・氏名についてはご本人(または法定代理人)の同意を得て掲載しています。